

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	糖アルコールリン酸修飾のバイオロジー
研究代表者	遠藤 玉夫 （東京都健康長寿医療センター・東京都健康長寿医療センター研究所・シニアフェロー） ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>リビトールリン酸は、従来細菌に存在することだけが知られていたが、ヒトにおいて筋肉の強度維持などに働く糖タンパク質に含まれること、その欠損が筋ジストロフィーなど疾患の原因になることを研究代表者らが発見した。本研究は、リビトールリン酸などの糖アルコールリン酸が糖タンパク質の構成成分として用いられることの生理的意義の解明と、その欠損による疾患の病態の解明を目的としている。</p> <p>本研究は、糖鎖科学の分野を国際的にもリードする先駆的なものである。本研究により、糖タンパク質に含まれるリビトールリン酸の機能が解明され、その欠損による疾患の発症メカニズムが明らかになることが期待される。また糖アルコールリン酸を含む新たな糖タンパク質が発見され、それらの機能が解明されることにより、糖アルコールリン酸修飾の生理的意義の理解が進展することが期待される。</p>